

取り組み紹介



網野町三津区 末次祥孝さん

網野町の三津区では、5年前の台風23号で被害を受け、三津防災会を立ち上げました。その防災会が中心となり、地域内の住宅で必要な警報器を取りまとめ、一括して購入し、一個目の警報器は同防災会から無償で配布されました。

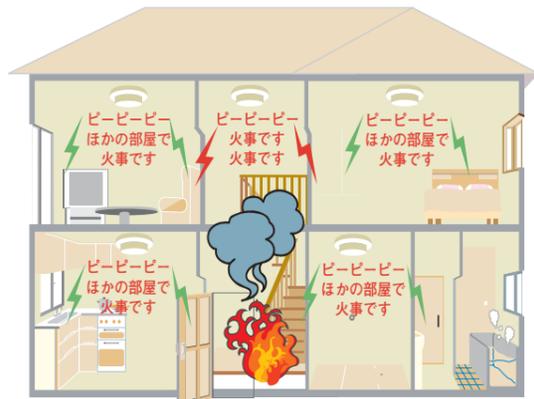
同防災会の末次祥孝会長は、「一括購入することにより、個人で購入するより安く購入できる。これをきっかけに各家庭で必要な個数の警報器を設置してもらい、被害に遭われるかたがなくなればいい。今後も、自分達でできることは自分達です。『自分の身は自分で守る』をモットーに三津区の安全を守っていきたい」と話されていました。

今回の取り組みにより約150世帯ある中で、90世帯に警報器が新たに設置されました。

警報器は各メーカーからたくさん販売されている中で、最近ではいろいろな機能を持ったものがあります。その中のひとつが、一つの警報器が火災を感知すると、設置してある全ての警報器が無線や有線で連動し、一斉に火災を知らせるものです。この連動タイプを使うことにより、例えば、離れて火災が発生した場合でも、母屋の感知器も連動して火災を知らせることが出来ます。



ドライバー1本で取り付けできます



連動タイプイメージ図

最新の住宅用火災警報器

従来からある警報音や音声タイプだけでなく、目や耳の不自由な方には、光や振動で火災を知らせるタイプ。さらには、わさび臭やミント臭などの臭いで知らせるタイプなどもあります。

これらの製品も選択できることで、より多くのかたに火災の発生をいち早く知らせることができるようになっています。

詳しい住宅用火災警報器の設置方法などのお問い合わせ

○京丹後市消防本部予防課

☎077-266-5119

または、最寄りの消防署にお問い合わせください。

○財団法人消防設備安全センター

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

あなたの家こそ必要です 住宅用火災警報器

消防の広場

たんごの風 42号

119

火災・救急・救助

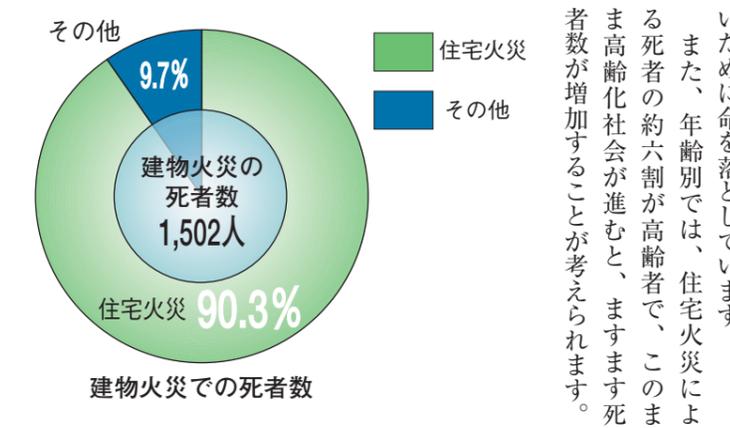
代表 62-0119
 総務課 総務係 62-8119
 管理係 62-8129
 予防課 62-5119

住宅用火災警報器の設置期限*まであと577日です

住宅火災が一番危険

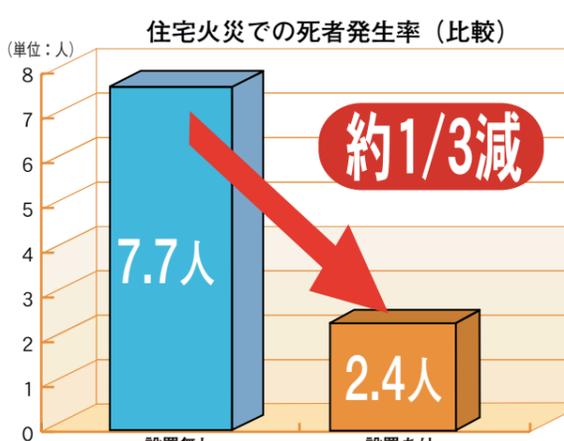
消防白書によると、建物火災による死者のうち、住宅火災による死者数は九〇・三割を占めています。最近では、ホテル・旅館・百貨店よりも火災件数当たりの死者数が五〜十倍程度となっており、住宅は最も死者が発生しやすい危険な建物といえます。

住宅火災による死者を時間帯別に



住宅用火災警報器は救世主

消防庁によると、発生した住宅火災百件あたりの死者発生率は、住宅用火災警報器（以下、警報器）が設置されていない住宅火災では七・七人で、警報器が設置されている住宅火災では二・四人となっており、警



報器が設置されることにより、約三分の一に減少しています。アメリカでは、一九七〇年代後半、住宅火災によって約六千人の死者が発生していましたが、警報器の設置が義務化され、その普及率が九〇%を超えた二〇〇二年には、死者数が三千人とほぼ半減しました。イギリスにおいても同様の結果がみられており、警報器が住宅火災による犠牲者を減らす有効な役割を果たしていることが分かります。

京丹後市においては、昨年に引き続き市民の皆さんにアンケートをとり集計した結果、普及率が昨年の十四・八%から二四・八割に改善しましたが、まだまだ二〇〇割には程遠い数字です。

*既に建っている住宅への住宅用火災警報器の設置義務期限です。新しい建物については既に設置義務があります。

ご家庭に合った警報器を

京丹後市では、新築住宅では平成十八年六月一日から、既存の住宅には平成二十三年五月三十一日までに警報器を取り付けなければなりません。火災はいつ起こるかわかりません。大切な命を守るためにも、「そのうちに」とはいわず、それぞれのご家庭に合った警報器を早急に設置してください。



救急一ロメモ 新型インフルエンザについて

現在、世界中で猛威をふるっている新型インフルエンザについてお話しします。

季節性のインフルエンザは毎年秋以降に流行しますが、今年も季節性のインフルエンザと新型インフルエンザが重なって流行すると思われる、大変注意が必要です。

新型インフルエンザの症状は、突然の高熱、咳、のどの痛み、倦怠（けんたい）感に加えて鼻水、鼻つまり、頭痛などです。新型インフルエンザは季節性のインフルエンザと類似しているとい



救急救命士 篠村 直樹

われていますが、季節性のインフルエンザと比べて、下痢や嘔吐（おうと）が多

いことが指摘されています。新型インフルエンザの予防については、できる限り外出を控えていただき、人の多い場所に行くのを避けてください。外出される場合は、マスクを着用し、外から帰ってきた後は、必ず手洗い、うがいをすることを習慣付けることが大切です。